

研究成果報告会

多様な視点を活かした避難所運営ができる仕組みづくり研究会

実施要領

災害時に不特定多数の方が共同生活を送る避難所では、女性・乳幼児・高齢者・障がい者等、多様な避難者を想定し、様々な配慮を検討しておく必要があります。

本研究会では、関西大学社会安全学部安全マネジメント学科教授 越山 健治 氏の指導のもと、多様な視点を活かした避難所運営ができる仕組みづくりについて、先進的取組事例へのインタビューや現地視察を行いながら、研究を進めてきました。

報告会では、先進事例のヒアリングや現地視察、ゲストスピーカー等の講義等を通じた考察を行い、本研究の分析結果等を報告いたします。

また、基調講演として吹田市総務部危機管理室室長 有吉 恭子 氏をお招きし、「これからの避難所運営のあり方について」と題して、現在およびこれまでのご経験や考えに基づいたご講演をいただきます。

報告会を通じて、今後、多様な視点を活かした避難所運営をしていくためにはどうすればよいか考える機会といたします。

記

1. 対 象 府内市町村職員（政令指定都市除く）
2. 実施日時 令和7年2月28日（金）14時～17時（受付13時30分～）
3. プログラム
 - 14：00～14：10 指導助言者よりご挨拶
関西大学社会安全学部安全マネジメント学科教授 越山 健治 氏
 - 14：10～15：00 基調講演『これからの避難所運営のあり方について』
吹田市総務部危機管理室室長 有吉 恭子 氏
 - 15：15～16：00 成果報告（研究員より研究成果の報告を行います）
 - 16：10～17：00 パネルディスカッション
パネリスト：有吉 恭子 氏、研究員
コーディネーター：越山 健治 氏
4. 場 所 おおさか市町村職員研修研究センター（マッセOSAKA） 大ホール
（大阪府中央区大手前3-1-43 大阪府新別館南館5階）
5. 定 員 60名（申し込み多数の場合は調整）
6. 申込締切日 令和7年2月14日（金）締切
※研修担当課を通じて、研修研究情報システムでご入力ください。
受講決定はいたしませんので、直接会場までお越しください。
定員超過の場合のみ、2月21日（金）までにご連絡いたします。
7. 問 合 先 公益財団法人 大阪府市町村振興協会
研修研究部（マッセOSAKA） 担当 藤谷・濱田（健）
電 話：06-6920-4565 ファックス：06-6920-4561
メール：fujitani-tr@masse.or.jp